

## 「冬のフィールドワーク」を終えて!



皆さん、約 2 週間にわたる冬休みを有意義に過ごせたでしょうか。落ちついて読書するよい機会だったと思いますが、いかがでしょうか。冬休み中に読んだ本で、おもしろかった一冊を紹介します。奥野克巳『ひっくり返す人類学 生きづらさの「そもそも」を問う』(ちくまプリマー新書、2024 年) です。何がおもしろかったのかというと、筆者の大胆な論理展開です。世の常識を疑い、「物事の根源に立ち戻って存在意義や必要性などを問う」「そもそも論」が、縦横無尽に駆使されています。そんな「そもそも論」が今、なぜ必要なのか。筆者はこう答えます。「人類にとってこうした未曽有の危機的状況の中で、生が今後も続いていくためには、私たちはいったいどうすればいいのでしょうか？」答えはどこかに転がっているのではなく、探し出さなければなりません。・・・危機が困難であればあるほど、目の前にある問題をいったんひっくり返してみるような、アクロバチックな思考法を手がかりにするしかありません。筆者の主張を支える大胆な論理をぜひ楽しんでみてください。

さて、図書委員会の冬休み企画として、フィールドワークが実施されました。5 名の有志メンバーが 12 月 26 日 (金) に、三菱 UFJ 銀行名古屋ビル 1 階にある「貨幣・浮世絵ミュージアム」を訪れました。スタッフの方が説明されましたが、ほぼ全ての貨幣が実物で展示され、非常に貴重な「天正沢潟大判」や「1 レンテンマルク紙幣」なども見ることができます。「貨幣について楽しく学べました」と、生徒が発言していたように、充実した見学となりました。以下、参加した図書委員の感想を紹介します。

★お金には歴史があって、それを学ぶことことで、日本と世界の外交を知ることができたので、おもしろかったです。また、さまざまな国の硬貨をたくさん見ることができたので、貴重な体験でした。浮世絵コーナーでは、教科書にも載っている有名な浮世絵も見ることができ、こちらも楽しかったです。

★小判の大きさが江戸時代末期に四分の一程度に小さくなった要因として、金と銀の価値比率の違いで、大量の金貨が海外に流出していたことがありました。貨幣と時代背景の関係を学べ、興味深かったです。また、浮世絵に関しては、昔の技法でつくられた芸術作品であるものの、今の芸術作品に劣らない美しさを持っていることを学べました。日常生活の美しさを素晴らしい技法で次の世代へ残している浮世絵に感銘を受けました。



# 新着図書案内



## 【B081 文庫本】

- \* これは経費で落ちません！ 12；経理部の森若さん 青木祐子著 集英社
- \* サーキット・スイッチャー 安野貴博著 早川書房
- \* 君の顔では泣けない 君嶋彼方著 KADOKAWA
- \* ガリバー旅行記 ジョナサン・スワイト著 KADOKAWA
- \* なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない 東畠開人著 新潮社
- \* 野の医者は笑う；心の治療とは何か？ 東畠開人著 文藝春秋
- \* 外科医、島へ；泣くな研修医 6  
迷うな女性外科医；泣くな研修医 7  
メスを置け、外科医；泣くな研修医 8 中山祐次郎著 幻冬舎
- \* 老人ホテル 原田ひ香著 光文社
- \* 余命一年の君が僕に残してくれたもの 日野祐希著 スターツ出版
- \* 果てしなきスカーレット 細田守著 KADOKAWA

## 【S081 新書本】

- \* 人間と昆虫のこれからを考える 沼田英治著  
(岩波ジュニア新書)
- \* シオニズム；イスラエルと現代世界 鶴見太郎著
- \* 日本の就活；新卒一括採用は「悪」なのか 常見陽平著
- \* EU 統治の論理と思想 庄司克宏著
- \* 戦争の美術史 宮下規久朗著  
(以上 岩波新書 新赤版)
- \* 「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか 三宅香帆著(新潮新書)
- \* 羽柴秀長と豊臣政権；秀吉を支えた弟の生涯 渡邊大門著 (ちくま新書)
- \* 秀吉を天下人にした男羽柴秀長；大大名との外交と領國統治 黒田基樹著(講談社現代新書)
- \* 羽柴秀長の生涯；秀吉を支えた「補佐役」の実像 黒田基樹著(平凡社新書)

## 【000 総記】

- \* 被爆者が眠る島；知られざる原爆体験 永井均著
- \* 大水害時代の防災；命を守る「治水」へ 梶原健嗣著  
(以上 岩波ブックレット)

## 【100 哲学】

- \* こども哲学ハンドブック；自由に考え、自由に話す場のつくり方 こども哲学おとな哲学アーダコーダ著  
アルパカ
- \* 科学的に証明されたすごい習慣大百科；人生が変わるテクニック 112 個集めました 堀田秀吾著 SBクリエイティブ
- \* 居るのはつらいよ；ケアとセラピーについての覚書 東畠開人著 医学書院

## 【200 歴史】

- \* やまぐちから考える世界史；歩いて、見て、感じる歴史 岩野雅子他編著 えにし書房
- \* 一冊でわかるフィリピン史；世界と日本がわかる国ぐにの歴史 菅谷成子著 河出書房新社
- \* 一冊でわかるオーストラリア史；世界と日本がわかる国ぐにの歴史 永野隆行著 河出書房新社
- \* ナポレオン戦争 上・下 デイヴ・イット・ジェフリ・チャンドラー著 国書刊行会
- \* チェンマイへ；古都で味わう北タイの美味 岡本麻里著 イカロス出版

- \* フィレンツェとトスカーナの街へ；美しい街歩きと日帰り旅 奥村千穂著 イカロス出版
- \* ニースとコート・ダジュールの街へ；芸術と食を堪能する旅 川人わかな著 イカロス出版
- \* クロアチアへ；アドリア海の素敵な街めぐり 最新版 小坂井真美著 イカロス出版
- \* ハンガリー・ブダペストへ；夢見る美しき古都 改訂版 鈴木文恵著 イカロス出版
- \* ポルトガルへ；リスボンととておきの町を訪ねるレトロな旅時間 矢野有貴見著 イカロス出版

## 【300 社会科学】

- \* 文藝春秋オピニオン 2026 年の論点 100 水上奥人編 文藝春秋
- \* 国ってなんだろう？；あなたと考えたい「私と国」の関係 早尾貴紀著 平凡社
- \* 中学校・高校教諭になるには 山田恵吾著 ペリカン社
- \* 技術・情報の時間；学校の学びを社会で活かせ！ 松井大助著 ペリカン社

## 【500 技術・工業】

- \* お米がもっと好きになる。炊き方、食べ方、選び方 柏木智帆著 技術評論社

## 【600 産業】

- \* 米の日本史 新装版 土肥鑑高著 雄山閣
- \* コーヒー2050 年問題 武田淳著 東京書籍

## 【700 芸術】

- \* ひろしま 石内都著 集英社

## 【800 言語】

- \* 語源×語感×イメージでごっそり覚える英単語事典 すずきひろし著 ベレ出版

## 【900 文学】

- \* 戦争とミステリー作家；なぜ私は「東条英機の後輩」になったのか 西村京太郎著 徳間書店
- \* NO. 6 再会 #1・#2 あさのあつこ著 講談社

- \* さよならジャバウォック 伊坂幸太郎著 双葉社
- \* アフター・ユー 一穂ミチ著 文藝春秋
- \* 変な地図 雨穴著 双葉社
- \* 普天を我が手に 第二部 奥田英朗著 講談社
- \* 研修生 多和田葉子著 中央公論新社
- \* 総理にされた男 第二次内閣 中山七里著 NHK 出版
- \* とどけチャイコフスキー 中山七里著 宝島社
- \* 殺し屋の営業術 野宮有著 講談社
- \* さらば！店長がバカすぎて 早見和真著 角川春樹事務所

- \* 彼女たちは楽園で遊ぶ 町田そのこ著 中央公論新社
- \* I 道尾秀介著 集英社
- \* 晓星 湊かなえ著 双葉社
- \* 成瀬は都を駆け抜ける 宮島未奈著 新潮社
- \* デモクラシーのいろは 森絵都著 角川書店
- \* 最後の一色 上・下 和田竜著 小学館
- \* 飼い犬に腹を噛まれる 彬子女王著 P H P 研究所
- \* シークレット・オブ・シークレット 上・下 ダン・ブラウン著 角川書店
- \* 対訳 フランス語で読む「星の王子さま」 渋谷豊編著 白水社
- \* イーリアス 上・下 ホーロス著 富山房